

糖の給液処理がダリア切り花の品質に及ぼす影響

松本久美・政岡由紀・松木尚志・二宮千登志・宮崎清宏

Effect of Sugar Treatment on the Quality of Cut Dahlia Flowers

Kumi MATSUMOTO, Yuki MASAOKA, Hisashi MATSUGI,

Chitoshi NINOMIYA and Kiyohiro MIYAZAKI

要 約

ダリア‘熱唱’および‘黒蝶’への収穫後の糖の給液処理と切り前について検討し、以下の試験結果を得た。

1. 給液処理する糖はフルクトースが最も効果的であったが、安価なスクロースが実用的であった。
2. スクロース液を1回以上給液処理すると、切り花の重量が増加し花色が濃くなって品質が向上するが、輸送中および後処理を組み合わせると、さらに品質保持期間が延長できた。
3. 蕾で収穫してスクロース液を給液処理すると、切り花品質が向上し、品質保持期間が延長できた。
4. 糖の過剰吸収による葉の障害は、スクロース液濃度を4%以下、処理温度を12℃以上、湿度を90%RHとすることで回避できた。
5. 高知県から市場へ輸送する際の適正なスクロース濃度は、5月では2%、2月では1%であった。

キーワード；ダリア，給液処理，切り前，品質保持期間